

会 議 録

(1)会議概要

会 議 名	令和4年度 第9回泉大津市参画と協働のまちづくり推進会議		
開 催 日 時	令和5年2月8日（水）19時00分～20時30分		
開 催 方 法	泉大津市役所4階401会議室及びZoomを活用したオンラインにより開催		
出 席 者	委 員	久委員、大久保委員、湯川委員、河野委員、金原委員、中井委員、岩出委員、川上委員、日高委員	
	事 務 局	川口政策推進部長、寒市民協働推進課長、森田市民協働推進課長補佐、田戸市民協働推進課係員、名下市民協働推進課係員、寺田おづぶらざセンター長	
傍聴の可否	可 (会場又はインターネット配信)	傍聴者数	0 人
会 議 次 第	1 開会 2 令和4年度事業報告及び令和5年度の取り組みについて 3 閉会		

(2)議事内容

○以下、事務局による進行

1. 開会

- 川口政策推進部長あいさつ
- 委員紹介、事務局紹介
- 資料確認
- 会長あいさつ

○以下、会長による進行

2. 案件

事務局より「令和4年度事業報告及び令和5年度の取り組みについて」を説明
(記録省略)

その後、委員による質疑応答

委員からの主な意見・指摘事項等

■ パブリックコメントについて

YouTube のコメントは自由に書き込めるものとして考え、オフィシャルにやり取りをしないとイケないものは要綱に沿って行えば良いので、切り分けると良い。

YouTube の説明欄に「良い意見があれば取り上げます」などの説明書きをし、コメントを書き込める形にさせていただき、様々な意見を取り入れていただきたい。

(参考：第8回の会議録より)

他市の事例として、都市計画関係の説明会を Youtube 配信している。意見等があれば Youtube 配信のコメント欄に書きこんでもらい、それがパブリックコメントの扱いになるような取り組みを行っている。Youtube 配信はハードルが高いように感じると思うが、意見する側が好きな時間に説明が聞くことができたり、気軽に意見をいただけるような仕組みを取り入れていただきたい。

<p>■ 市民出前講座について</p>
<p>どのような団体から依頼を受けて開催したのかなどの内容詳細を一般市民に公開し、実際の感想などの声が聞けることができれば、利用する側に感じが上手く伝わるのではないかと考える。</p> <p>「とりあえず出前講座を行っています」だけではなく、工夫した PR が必要である。各担当課が責任を持って一步踏み込んだ積極的な PR をする必要があると感じる。</p>
<p>■ 行政のデジタル化の推進について</p>
<p>すでに Zoom で行えている会議は、毎回対面か Zoom かの検討をせず、今後は Zoom 会議で行えばよいのではないか。資料も紙ベースで送付せず、デジタルを使える団体には全てデジタル化を検討してはどうか。</p>
<p>■ 市民参画・市民協働の推進について</p>
<p>コロナで市民の意見を聞く場が減り、協働や市民の声を聞く意識が薄れている職員もいると思われるため、職員へ意識啓発なども積極的に行っていただきたい。</p> <p>「市役所職員と市民」ではなく、普段から友達感覚で意見交換ができるような人間関係を築いていく工夫を今後していただければと思う。</p>
<p>■ 市の各種補助金について</p>
<p>団体構成員の中で資格がある人材への謝礼も補助対象にしてはどうか。多数の資格を持っていて、外部講師を呼ばなくても団体内で人材を賄える状態であるにも関わらず、自腹を切って活動している団体もあるため、検討いただきたい。</p> <p>市役所としては公益性という観点で、いかに広い泉大津市民に還元できるかを求めているため、謝礼に関して補助対象を広げることは慎重になる点だとは思いますが検討いただきたい。</p>
<p>■ ホームページについて</p>
<p>市役所の事業と市民の自発的な活動が交われておらず、市のイベントと市民団体のイベントの日程が重なることがあった。市役所主催や市民団体主催などわかるような工夫をし、市民団体のイベントだけでなく、社会福祉協議会や商工会議所のイベントなども掲載できるように一元化してもよいのではないか。</p> <p>ホームページからパブリックコメントを閲覧する際に見にくいと感じるためこちらも考えていただきたい。</p>

■ 市民活動支援センター（以下おづぶらぎ）の運営について

現在登録している 185 団体の団体一覧表作成をしていただきたい。新しく登録した団体がどのような団体なのかを知ることができたら、団体同士の連携ができると考えるため検討いただきたい。

ホームページの様々な団体が掲載されているリストの中で、新団体には「NEW」という赤いマークをつける等、一目でわかる工夫をしていただきたい。

活動場所に関しては、例えば企業が持っているスペースや学校内のコミュニティースペースなど、空いている所を上手く使えるような仲立ちをしていただきたい。新しくできるシーパsparkも屋外で活動できる良いスペースのため、今後の活動場所として工夫していただきたい。

市や市民団体等のイベントの日程が一元化されたツールとして、Google カレンダーのような共有カレンダーを使いこなせば調整可能だと思われるため、検討していただきたい。LINE 公式アカウントについて、料金プランの改定により無料で配信できるメッセージ数が 6 月から 200 通に減るため、6 月以降どのようにしていくかの工夫をしていただきたい。

■ プロボノ活用支援事業について

プロボノは、マッチしない面や、フィット感を感じられないことも多々あり、コーディネーターが難しいと考えられる。事前に先進的な取り組みを行う支援団体等へのヒアリングが必要だと考える。

団体を発信するにあたって、土台となる活動目的など中身を整えることも重要であるため、運営面などのソフト面のサポートにも力を入れていただきたい。

市職員も資料作りなど団体の中で活かせるスキルやノウハウがあるため、プロボノとして地域や団体に入る活動ができることを広めていただきたい。

泉大津市内で団体とプロボノがマッチングできれば、地産地消にもなる。市内で募集をかける方法はいかがか。

泉大津市にもスキルを持った事業者はおり、上手くマッチングができれば発展していけると考えられるため、プロボノの仕組みをきっかけに、一緒に活動できるような体制を検討いただきたい。

○以下、事務局による進行

3. 閉会（記録省略）